

【算数】

＜勉強すること＞◆「たし算とひき算」⑤（教科書 42～43 ページ）

もっと数の大きいひき算に挑戦しよう。

①		1	0	0	0
	—		3	4	7

見つもり



あれ？ これまで学習したことをつかったら、
数が「4けた」になってもひき算ができるんじゃないかな？

筆算をして、
答えを出そう。

※一の位から計算するよ。

※くり下がりをわすれないように、線や数をかこう。

$$\begin{array}{r}
 \overset{10}{\cancel{10}}00 \\
 - \quad 347 \\
 \hline
 \end{array}
 \rightarrow
 \begin{array}{r}
 \overset{9}{\cancel{10}}\overset{10}{\cancel{10}}0 \\
 - \quad 347 \\
 \hline
 \end{array}
 \rightarrow
 \begin{array}{r}
 1000 \\
 - \quad 347 \\
 \hline
 \end{array}$$

くり下がりをぜんぶ書いたら、さいごはどうなるかな？書いてみよう。

これまでの学習を生かして、計算しよう。

②		1	2	6	7
	—		5	3	4

見つもり

③		3	9	7	2
	—	1	3	6	8

見つもり

学習して分かったことや見つけたこと、おもしろい！と思ったことなどを書こう。

今のみんななら、数が何けたになっても計算できるはず！
自分で数を決めてたしかめてみよう。

—							

自分で好きな数を入れて、
計算してみよう。
(何けたでもいいよ。)

<電たくで出した答え>



答えは同じになるはずだよ！

--

自分でつくったもんだいの
答えを電たくで出そう。

「たしかめ」のもんだいを算数のノートにやって、
学んだことをしっかり身につけよう。

- 教科書 42 ページ 16 ・ 17
- 教科書 43 ページ 18 ・ 19 ・ 20 ・ 21

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆たし算とひき算（教科書 P42～P43）

- ・くり下がりの際、数を書き直したり「1」を書かなかつたりせず、誤ってしまうことが多く見られます。今の段階では必ず書くように習慣付けた方が、より間違いが少なくなります。
- ・それぞれの問題の違いに着目しながら、「数が増えても、計算の仕方は同じだ！」と感じられていたら素晴らしいです。